

中・高校新校舎完成

ごあいさつ


**「尚綱学園の
Renaissanceを期して」**

学校法人尚綱学園理事長 江口 吾朗

平成25年1月完工を期して、同23年2月に九品寺キャンパスの再開発の工事に着手いたしました。工事関係者と教職員各位の御努力により、同年12月に大学図書館と中・高校舎・図書館を収容する校舎(8階建)と学園共用のセミナーハウス(4階建)を第一期工事として完成させることができました。

生徒や学生たちがより健やかに学び得る環境の提供に不断の努力を傾注いたしますと共に、大学と中・高の先生方が相互に連携協力し合い、どの教科課程を選んでも自己実現が可能となるような一貫教育を展開します。それにより、尚綱の門をくぐった若人達が尚綱での学びを通じて豊かな将来を実現してくれるような教育を目指します。また、平成25年1月には2階建ての体育館併設の円形アリーナが完成する予定です。国際的な競技会も開催でき、地域住民の様々な活動にも利用いただけるアリーナを整備します。

本学園は2年後には創立125年を迎えますが、長い歴史を踏まえ、良き伝統を活かして近代化につとめ、次世代に社会貢献できる豊かな視野と自立心を備えた人材の育成を目指します。


「仏作って魂を入れる」

中学高等学校長 甲斐 正哉

新春の空にそびえ建つ新校舎壁面に、本学園の教育理念である『尚綱』の二文字が輝いております。私共の積年の念願であり夢でもありました8階建ての新校舎と、4階建ての尚綱学舎(合宿所)が完成しました。

更に、平成25年1月には新体育館(尚綱アリーナ)が完成します。これも偏に、学園関係の方々はもとより、これまで本校教育に深いご理解と、ご支援を賜った多くの皆様方のおかげです。深く感謝申し上げます。

「仏作って魂入れず」という諺がありますが、この新装成った尚綱九品寺キャンパスの恵まれた環境で、『新尚綱スタイル』の旗印の下、魂を入れるべく師弟同行で切磋琢磨し、次世代に活躍できる有為な人材を育て、世に送り出していく所存です。


**「尚綱大学図書館本館の
新設に感謝」**

大学長 大羽 宏一

昨年12月16日に、旧学生寮の跡地に8階建ての中学高校校舎が完成いたしました。そしてこの新校舎の1階には、従来7号館3階にあった尚綱大学の九品寺分館が移転され、新たに尚綱大学図書館本館として開館されています。

今までは3階にあったことから、学生にとってはやや不便なところがあったといえますが、この新図書館本館は1階に位置しており、また正面玄関の近くにあることから、学生の学修意欲の向上につながるものと期待しており、尚綱大学の教員一同は大変に喜んでおります。

大学設置基準第38条に「大学は、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備えるものとする。」とあるように、大学にとって図書館は教育や研究を行う上での、いわば生命線ともいえるものです。この校舎の新築にあたり、大学図書館本館を入れていただいたことについて、江口吾朗理事長始め関係者の皆様に心から感謝申し上げます。次第でございます。



いしずえ

礎

vol.15 CONTENTS

- 特集
中・高校新校舎完成 巻頭
- イベントレポート 4
- 尚綱コレクション 5
- インフォメーション 6